

スローライフだより 82

~Think globally, act locally~

第82号
特定非営利活動法人
スローライフ宮崎

〒880-2114 宮崎市大字富吉793番地1

TEL/FAX 0985-62-4233

<http://www.slow-life.or.jp>

生き活き市民農園！！



行事報告

1月	26日	プロスポーツ選手春季キャンプ前の生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃
3月	13日	第3回三役会



第22回通常総会のご案内

下記の通り総会を開催致します。スローライフ宮崎の会員の皆様には別途案内文書を送付致します。
参加の程宜しくお願い致します。

日時：令和7年5月29日（木）^記 午後6：00～ 下富吉公民館

生目小学校生き活き学習田植え

日時：令和7年6月3日（火） 午前9：00～
場所：生目幼稚園近く田んぼ
（昨年度と同じ田んぼ）
雨天予備日：6月5日（木） 時間は変わりません。



勝負ネタ



崎村恒夫

夏が近づくとひや汁が食べたくなる。子供の頃、母が大きめのすり鉢で炙った味噌にだし汁を少しづつ加えながらスリコギでといていくのをすり鉢の両側を押さえて手伝ったのを思い出す。見た目以上に手のかかる料理だった。

清武出身の高校時代の同級生だった友人は、大学卒業後大手証券会社に勤務し、縁あって静岡出身の方と結婚した。友人もひや汁が好きで、結婚後最初の盆休みに帰郷したとき奥様にひや汁の作り方を伝授してくれるよう母親に頼んだ。母親は喜んで「一緒に作ろう」と奥様を誘いひや汁作りに取り掛かり、「あんた、器用だねえ」と母親が奥様を褒めながらひや汁は出来上がった。ひや汁は美味しかった。友人は「ありがとう」と奥様に心よりお礼を言った。

帰宅してしばらくしてから、友人は奥様にひや汁作りをお願いした。ひや汁は素晴らしい出来栄だった。礼を言うと「わたし、ネコまんま作りはあまり気のりがしない・・・」という返事が返ってきた。それからはひや汁をお願いするのに大いに気遣いをしたそうだ。しかし、その後成長したお子さんが「ひや汁は美味しい」と言い出してからは奥様は自らひや汁を作るようになった。友人は「我が家のひや汁が継いでいけるようになったよ」と嬉しそうだった。

芸能の世界に「勝負ネタ」と称されるものがある。例えばジャズ・ボーカルではジャズ歌手たちがスタンダードナンバー中のスタンダード「ラバーカンバクトゥミー」を自分のスタイルに仕上げようと懸命に努力する。落語の世界には三遊亭圓朝作の「文七元結（ぶんしちもっとい）」という人情話があり、落語家たちは自分の「文七元結」創りに芸を磨く。彼らの芸に魅せられて聴き手は「〇〇のラバーカンバクトゥミー」が、「〇〇の文七元結」が聴きたいということになる。

ひや汁はそれぞれの家で味付けも具材も微妙に異なるがいつでも美味しい。故郷を離れた人たちが食べたいというひや汁はこのそれぞれの家のひや汁なのである。それを思うとひや汁は宮崎のおふくろの味の「勝負ネタ」ではないだろうか。市販の「ひや汁の素」で手軽に作るのもよいが、ときには手間をかけてその家伝統のひや汁に舌鼓を打つのも大事なと思っている。





生目の杜運動公園周辺のボランティア清掃



2月はプロスポーツ選手が生目の杜運動公園で春季キャンプを行います。生目の杜運動公園にお越し下さる方々が気持ちよく過ごして頂けるように心をこめて1月26日に清掃活動を行いました。
総勢29名での清掃活動になりました。



生目の杜運動公園アイビススタジアムスタンド清掃



福岡ソフトバンクホークスのキャンプ期間中及び球春みやざきベースボールゲームズ開催期間中にアイビススタジアムのスタンド清掃の委託がありましたので、練習や試合が終わった午後4時頃から清掃を行いました。
スタンドの椅子を拭いたり、ゴミの収集などを行いました。



生目の杜運動公園円形花壇植栽



福岡ソフトバンクホークス春季キャンプが終わった後も、次の植え替え時期まで色鮮やかな花壇になるように花殻摘みや除草、水かけなど常時管理して頂いています。
南駐車場南ゲート出入り口前市道沿いの花壇にもなでしこなどを植栽しています。



生目の杜運動公園駐車場料金徴収業務



福岡ソフトバンクホークスの春季キャンプ期間中、来場者の方から交通対策費を負担していただくことになったので、宮崎市観光協会様から交通対策費徴収業務を委託されました。駐車場料金徴収員を増員して業務を行いました。

(平日16名・土日祝日18名 南駐車場北南ゲート・東駐車場・有田A(臨時)駐車場)



生き活き市民農園



第3農園の南側の道路に砂利をいれました。

生き活き市民農園の利用者募集中です！！

第1、第3市民農園に空きがあります。

詳細は事務局までお問い合わせください。

(事務局・・・62-4233

長谷川理事長・・・090-3737-9917)



4月～7月の予定

5月 中旬	生目の杜運動公園円形プロムナード花壇植栽
5月 21日	令和7年度第1回三役会
5月 22日	令和7年度第1回役員会
5月 29日	第22回 スローライフ宮崎通常総会
5月 30日	生目小学校5年生田植え前授業
6月 3日	生目小学校5年生田植え(雨天予備日6月5日)



出向・委託業務関係

5月～7月

毎月第1火曜日

毎月第3火曜日

※ 駐 車 場

※ 花 壇 管 理

駐車場料金徴収員会議

花壇管理者会議

土、日、祝日、キャンプ期間中

随 時

スローライフ事務所

スローライフ事務所

駐車場料金収納・送迎車両受付
(10:00～18:00)



お便り大募集！ 83号(7月発行予定)、84号(10月発行予定)

スローライフ宮崎では、皆さんからのお便りや、こんな企画があったらいいなという声を募集しています。また、写真(返却いたします)も大歓迎！！お葉書やFAXをお待ちしていま～す。

(TEL/FAX 0985-62-4233)



編集後記



本県の芸術文化振興に大変貢献され昨年の10月14日に亡くなられた渡邊綱纒さん、今年の1月12日に亡くなられた南邦和さんが制作されている“宮崎この人”シリーズで紹介されている地方史家 崎村恒夫さんに今回のコラム欄はお願いしました。

崎村さんは城ヶ崎と恒久の境界近くに住まわれている方です。兄さんや弟さんの逝去で県外から郷里宮崎に帰り、崎村家を継ぎ、縁続きだった城ヶ崎の御三家と言われている、太田家(行政)南村家(経済)小村家(文化)の史実を調べあげ“宮崎の文化の原点 城ヶ崎を語る”と題して昔の城ヶ崎のことをDVDで語られています。明治6年美々津県と都城県が合併し宮崎県が誕生したものの当時力のあった鹿児島県に再び併合されました。明治10年の西南の役で田原坂で敗れた西郷軍は延岡方面から鹿児島へ逃げ帰った部隊と、途中当時鹿児島県だった城ヶ崎に立ち寄り略奪 放火などあらゆる悪事をなして鹿児島に逃げ帰った二組の西郷軍があったようようです。その頃の城ヶ崎の戯れ歌に『横町ホイサッ 曾井サッサッ 働馬寄ソロソロ オシカクタ！ 西郷隆盛 イワシカ ザコカ！ タイ(政府)に追われて逃げてゆく！』とあるそうです。

宮崎から西郷軍へ加わり参戦した人もいたそうですが、宮崎の人々は特に城ヶ崎の住民は西郷軍へのよいイメージはもってなかったようです。

最後に本県の芸術文化振興に大変貢献され、このたびご逝去された渡邊綱纒さん・南邦和さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

長谷川(4月15日)